

第2学年 社会科学習指導案

日 時 平成24年9月27日(木) 5校時

生 徒 2年A組(男子13名女子15名 計28名)

指導者 渡部 将

1 単元名

第2章 日本の諸地域 3節 近畿地方 ―歴史の中で形づくられてきた人々のくらし―

2 単元の目標

- ・京都市や奈良市の伝統的な文化や歴史的な景観に関心を持ち、近畿地方の歴史的背景について意欲的に追究しようとしている。
- ・近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
- ・収集した資料から、近畿地方の地域的特色について判断できる資料を適切に選択し、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりできる。
- ・近畿地方について、歴史的背景を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。

3 単元について

(1) 教材観

学習指導要領地理的分野の目標に、「日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりにとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。」とある。本単元では、近畿地方の地域的特色を歴史的背景を中核として考察し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、近畿地方の地域的特色や地域の課題をとらえる。本時は既習知識を活用し、近畿地方の町や人々のくらしが歴史的にどのような形で形づくられてきたかを追究・考察する。

(2) 生徒観

集中して話を聞く態度が身につけてきており、学習課題にもしっかりと取り組めるようになってきた。しかし、定期テストでは「社会的な思考・判断・表現」、「資料活用の技能」の定着度が低く、授業でも資料読み取りや自分の考えを書くという学習では手が止まる生徒が多い。また、理解できていても、発表したりグループで話し合ったりするなど自分の意見を積極的に発表する生徒が少ないのが課題である。

本時は以下をねらいとしペア学習やグループ学習を取り入れる。

- ・自分の考えを持ってない生徒はわかっている生徒の発言を聞くことにより考えを持つ。
- ・互いに意見を出し合うことで自分に必要な情報を得たり、他人の意見をヒントにしたりして活動を進める。
- ・自分の考えをもっている生徒は、グループ内で自分の意見を発表することでより確かな理解につなげる。

上記の姿が見られるよう机間指導によって支援をしていく。

(3) 指導観

資料の読み取りや自分の考えを表現する力が弱いので、学級全体で交流する前に、自分で考えたことをグループ内で交流させることで、新たな意見を持ったり、わからないことがわかったりして、実感をもって学習できるようにする。また、複数の資料を提示し、その中から有用な情報を選択したり比較したりすることで読み取る力をつける。

4 指導と評価の計画

- 近畿地方の生活の舞台 . . . (1 時間)
- 近畿地方の人々の営み . . . (1 時間)
- 古都の成り立ちと現在 . . . (1 時間) (本時 3/5)
- 都市と郊外の成り立ち . . . (1 時間)
- 現代に開発されたニュータウン . . . (1 時間)

【「(2) 日本の様々な地域 ウ日本の諸地域」の評価規準】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
京都市、奈良市などの歴史的背景を中核とした考察の仕方を基に、近畿地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	京都市、奈良市などの様々な都市の特色について、その歴史的背景の違いに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料から、京都市、奈良市などの地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、京都市、奈良市などの地域的特色について読み取ったり図表などにまとめている。 	京都市、奈良市などの地域的特色には歴史的な背景があることをとらえ、その特色を理解し、知識を身に付けている。

5 本時について

(1) 本時の目標

京都市や奈良市に観光客が多い理由を歴史的背景からとらえ、伝統的な文化や歴史的な景観の保存と開発を結び付け考察することができる。[社会的な思考・判断・表現]

(2) 本時の評価規準

古都には歴史的な街並みが残り、それを保存していることが魅力につながっていることを記述できる。[社会的な思考・判断・表現]

(3) 本時指導の構想

①学び合いについて

京都市の地図から、京都市には歴史的な遺産があることに気付かせ、それがなぜ近畿地方の魅力

につながっているかを考えさせる。その理由について4人グループで交流することで各自が意見を持てるようにする。その後全体で交流して、京都市の特徴を捉えさせる。

次に、歴史的景観を保護する運動について京都市と他地域を比較して考えさせる。自分なりの意見をもたせ、4人グループで交流することで多面的な考えにつなげたい。資料の読み取りが難しい生徒に対しては、4人グループの話し合いで、他生徒の意見の中から自分に取り入れたい意見をメモさせることで気づきをもたせる。読み取れた生徒にはしっかりと説明させることで理解をより確実にさせる。

②振り返りについて

ワークシートを用いて次のことを振り返り、次時以降の意欲喚起に結び付けたい。

(ア)近畿地方はどのようにして魅力ある町を作ってきたのか。

(イ)本時の授業を受けて学習したことについての感想を書く。

(ウ)歴史的な景観が残る近畿地方で自分が生活するとしたら、何に気をつけて生活したいか。

(ア)の何をしたかについては、近畿地方は歴史的な景観や、それを保護する取り組みにも積極的であることをおさえる。

(イ)のどう思ったかについては、本時の学習内容について近畿地方への関心を表現する。

(ウ)のこれからどうするかについては、近畿地方の開発や景観保護について自分のこととして考える。

6 本時の展開

段階	過程	学習活動	指導上の留意点	
			評価[方法]【観点】	学び合いを通して、ねらいにせまる手だて
導入 8分	課題 把握	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方への外国人観光客数の変化を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、年々京都市への観光客数が増えていることを読み取り、増えている理由について疑問をもつ。[発言]【思考】 	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方への外国人観光客の推移のグラフを提示し、観光客の多さに着目させる。
		<ul style="list-style-type: none"> 京都市と他地域のコンビニエンスストアの写真を比較し違いを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、歴史的なかかわりに着目し違いを見つける。[発言]【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ会社のコンビニエンスストアの写真を提示し、外観の違いに気づかせ、グラフと写真から、課題に対する予想を考えさせる。
		近畿地方が魅力ある町なのはなぜだろう		
		<ul style="list-style-type: none"> 京都市にある世界遺産の地図と世界遺産の特徴の資料から、近畿地方の特徴と魅力について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、京都市には多くの世界遺産があるという特徴を読み取り、課題に対する理由を考える。[ノート]【技能】【思考】 	<ul style="list-style-type: none"> 京都市の魅力を考えさせるため、京都市の地形図、世界遺産の特徴の資料を提示し最初に自力解決の時間をとる。グループで話し合わせる。友だちの意見

<p>展開 32分</p>	<p>課題 解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪城とその周りに建つビルの写真から、歴史的建造物と近代的建造物が混在していることをとらえ、課題と解決のための取り組みを考える。 ・京都市と他地域のコンビニエンスストアの写真を比較し、なぜ違うか理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な景観を損ねていることに気づき、近畿地方の人々の取り組みを考える。〔ノート〕【思考】 ・京都市の街並みが歴史的景観を保護するように作られていることがわかる。〔ノート〕【思考】 	<p>は色ペンでメモをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物と近代的建造物が混在している大阪城の写真を提示し、景観を損ねていることに気付かせ、取り組みを考えさせる。 ・京都市と他地域のコンビニエンスストアの写真を提示する。 ・最初に自力解決の時間をとる。グループで話し合わせる。友だちの意見は色ペンでメモをさせる。
<p>まとめ 10分</p>	<p>振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを記入する。 <ol style="list-style-type: none"> ①何を学んだか ②どう感じたか ③これからどうするか ・次時の予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・古都には歴史的な街並みが残り、それを保存していることが魅力につながっていることを記述できる。〔ノート〕【思考】 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を高めるため、机間巡視で記述に対して評価し、全体で交流する。